第

七 六 £ 四

# ◎所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止の

(略称) アラブ連合との租税 (所得) 条約

条	条	条	条	条	条	条	文 …	目		
特殊関係企業に係る利得	船舶、航空機に係る利得	企業又は恒久的施設による利得	不動産に係る所得	恒久的施設	定義	対象となる租税		次	昭和四十四年八月 六 日	昭和四十四年八月 六 日昭和四十四年八月 六 日昭和四十四年八月 六 日昭和四十四年八月 一 日昭和四十四年六月 一 日昭和四十三年九月 三 日
四五八	四五七	四五五五	四五五	四五二	五〇	四四九	四四九	ページ	効力発生 (条約第九号)	公前及び告示 東京で批准書交換 地での閣議決定 国会承認

第 第 第 前

Ξ

第 第

第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
第二十五条	hrl 1-	H	-1-	第二十	干	十九	十八	十七	十六	五五	小 加	+	+	+	+-	九	八
条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条
批准及び効力発生及び適用の開始	外交官及び領事官の特権	情報交換	不服申立て及び協議	内国民待遇		教授、研究者の報酬	学生又は事業修習者への給付金	公務の遂行について支払われる報酬	退職年金等の報酬	芸能活動による所得	役員の報酬	勤務に対する報酬	自由職業の所得	不動産その他の財産の譲渡収益	無体財産権の使用料	利了	配当
四七四	四七四	四七三	四七二	四七〇	四六九	四六九	四六八	四六八	四六七	四六七	四六七	四六六	四 六 五	四六四	四大三	四六一	四 五 九

2 第八条4及び6に関する了解	1 第六条2に関する了解	○合意された議事録	末 文	第二十六条 条約の終了及び適用の終了時期
	四七八	四七八		
四七八	八	八	四七六	四七五

止 所 のための日本国とアラブ連合共和国との間の条約 得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防

するための条約を締結することを希望して、 H 得に対する租税に関 本国政府及びアラブ連合共和国政府は、 し、二重課税を回避し 及び脱税を防止

### 第 一条

次のとおり協定した。

1 について適用する。 この条約は、 本条3に掲げるもの(課税方法のい 各締約国において課される所得に対する租 かんを問 わない。 税

2 賃金又は給料の総額 不動産 る租税とされる。 総合 の譲渡から生ずる収益に対する租税及び企業が支払り 所得又は所得の要素に対するすべての租税(動産又は K 対する租税を含む。)は、 所得に対す

(a) (1) H 所得税 本国においては、

3

との条約が適用される現行の租税は、

次のものとする。

(2)

住民税 法人税

以下 「日本国 の租税」という。)

ブ連合共和 国 k おいては、

(b)

ア

ラ

ラブ連合との租税

(所得)

AND THE PREVENTION OF FISCAL EVASION WITH RE-REPUBLIC FOR THE AVOIDANCE OF DOUBLE TAXATION CONVENTION BETWEEN JAPAN AND THE UNITED ARAB SPECT TO TAXES ON INCOME

of the United Arab Republic, The Government of Japan and the Government

on income, tion of fiscal evasion with respect to taxes avoidance of double taxation and the preven-Desiring to conclude a convention for the

Have agreed as follows:

Article 1

respective of the manner in which they are merated in paragraph 3 of this Article, irincome imposed in each Contracting State enulevied This Convention shall apply to taxes on

wages or salaries paid by enterprises. property and taxes on the total amounts of ments of income, including taxes on gains all taxes imposed on total income, or on elefrom the alienation of movable or immovable 2. There shall be regarded as taxes on income

shall apply are: (a) In the case of Japan:

3. The existing taxes to which this Convention

- (1) the income tax
- (2) the corporation tax; and
- the local inhabitant taxes

(hereinafter referred to as tax").

ī the case of the United Arab Republic:

( d)

義 1

この条約において、

文脈により別に解釈すべき場合を除く

Œ

か

5

両締約国

の権限のある当局は、

各年の末に、それぞれの国

とする。

の税法について行なわれた重要な改正を相互に通知するもの

4 を有するものについても、 て、 この条約は、 (1)(9) (8)(7)(6)(5)(4)(2)(3)その後に課される租税で同一の又は実質的に類似の性質 及びガフィール税を含む。 課される附加税 (以下「アラブ連合共 する租税 防衛税 自由職業その他すべての非商業的職業からの利得 賃金、 商業上及び産業上の利得に対する租税 不 前記の租税に対する百分率により又は他の方法に 国家安全保障 動産資本所得に対する租税 一般所得税 動 産 給料、手当及び退職年金に対する租税 から生ずる所得に対する租税(土地税、 現行の租税に加え、又はこれらの租税に代え 税 また、 和国の租税」という。 適用する。 建物税

- (1) tax on income derived from immovable property (including the land tax, the build-
- tax on income from movable capital; ings tax and the ghaffir tax);

(2)

- (3) tax on commercial and industrial profits;
- (4)tax on wages, salaries, indemnities

and

pensions;

(5) tax on profits from liberal procommercial professions; fessions and all other non-

. に 対

- (6) general income tax;
- defence tax;
- (7)
- (9) supplementary taxes imposed as per-(8) national security tax; and centage of taxes mentioned above or

より

Arab Republic tax"). (hereinafter referred to as "United otherwise

are subsequently imposed in addition to, or in place of, the existing taxes. identical or substantially similar taxes which 4. This Convention shall also apply to any

which have been made in their respective taxanotify to each other any significant changes thorities of the Contracting States shall 5. At the end of each year, the competent aution laws.

### Article ro

otherwise requires: l. In this Convention, unless the context

- の租税に関する法令が施行されているすべての領域をいう。で用いる場合には、それぞれ日本国又はアラブ連合共和国()「日本国」又は「アラブ連合共和国」とは、地理的意味)
- り、日本国又はアラブ連合共和国をいう。 (一方の締約国」及び「他方の締約国」とは、文脈によ
- 合共和国の租税をいう。(「租税」とは、文脈により、日本国の租税又はアラブ連
- 回 者」には、個人、法人及び法人以外の社団を含む。
- 格を有する団体として取り扱われる団体をいう。()「法人」とは、法人格を有する団体又は租税に関し法人)
- (f) に関し 若しく た法人格を有する団体として取り扱われる団体を 「日本の法人」とは、 は組 日本国の法令に基づいて設立され若し |織された法人格を有する団体又は 日本国の法令に基づいて設立 日本国 くは組  $\bigcirc$ 0 , 9 0 織さ され 租
- を有する団体として取り扱われる団体をいう。和国の法令に基づいて設立され若しくは組織された法人格する団体又はアラブ連合共和国の租税に関しアラブ連合共法令に基づいて設立され若しくは組織された法人格を有に 「アラブ連合共和国の法人」とは、アラブ連合共和国の
- (h) 関し 法人をいう。 関 H 本 |本国 ĸ L :アラブ連合共和国の居住者でないもの及び日 1の居住者 の居 住者であり、 ことは、法人以外の者で日本国 かつ、アラブ連合共 和 0 租 国 本 0 税

ラブ連合との租税

(所得)

条約

- (a) the term "Japan" or "United Arab Republic", as used in a geographical
  sense, means respectively all the territory in which the laws relating to
  tax of Japan or the United Arab Republic are enforced;
- (b) the terms "a Contracting State" and "the other Contracting State" mean Japan or the United Arab Republic, as the context requires;
- (c) the term "tax" means Japanese tax or United Arab Republic tax, as the context requires;
- (d) the term "person" includes an individual, a company and any unincorporated body of persons;
- (e) the term "company" means any body corporate or any entity which is treated as a body corporate for tax purposes;
- (f) the term "Japanese company" means any body corporate created or organized under the laws of Japan or any entity which is treated as a body corporate created or organized under the laws of Japan for the purposes of Japanese tax;
- (g) the term "United Arab Republic company" means any body corporate created or organized under the laws of the United Arab Republic or any entity which is treated as a body corporate created or organized under the laws of the United Arab Republic for the purposes of United Arab Republic tax;
- (h) the term "resident of Japan" means any person other than a company who is resident in Japan for the purposes of Japanese tax and not resident in the United Arab Republic for the purposes of United Arab Republic tax and any Japa-

1

2

一方の締約国がこの条約の規定を適用する場合には、

特に

定義されてい

ない用語

は、

文脈により別に解釈すべき場合を

(i) the term "resident of the United Arab

nese company ;

Republic" means any person other than

Arab Republic for the purposes of United a company who is resident in the United

the terms "resident of a Contracting

Republic, as the context requires; Japan or a resident of the United Arab tracting State" mean a resident of State" and "resident of the other Conand any United Arab Republic company; Japan for the purposes of Japanese tax Arab Republic tax and not resident in

- (i) あり、 ラブ連合共 の及びアラブ連合共和国の法人をいう。 アラブ かつ、 和国 車 一合共  $\exists$ |本国 0 租 和 一税に関  $\blacksquare$ の租税に関し日 0 居 しアラブ連合共和 住者」とは、 本国の居 法人以外の者 住者でないも 国の居住 でア 者 で
- (j) とは、 「一方の締約国の居住者」及び「他方の締約国の居住者 文脈により、 日本国の居住者又はアラブ連合共和国
- (**k**) は、それぞれ一方の締約国の居 「一方の締約国の企業」及び 住者 他方の締約国の企業」と が営む企業及び他方の
- (1)国については、財務大臣又は権限を与えられたその代理者 又は権限を与えられたその代理者をいい、 締約国の居住者が営む企業をいう。 50 権限のある当局」とは、日本国については、大蔵大臣 アラブ連合共和

(1)

- の居住者をいう。
- the terms "enterprise of a Contracting of a Contracting State and an enteran enterprise carried on by a resident Contracting State" mean respectively State" and "enterprise of the other other Contracting State; prise carried on by a resident of the
- the term "competent authority" means, Treasury or his authorised representa-Arab Republic, the Minister of the tive; and in the case of the United Finance or his authorised representain the case of Japan, the Minister of

which it has under the laws in force in that 2. In the application of the provisions of are the subject of this Convention. Contracting State relating to the taxes which term not otherwise defined shall, unless the this Convention by a Contracting State any

# Article

この条約の適用上、「恒久的施設」とは、事業を行なり一定

法令上有する意義を有するものとする。

除くほか、この条約の対象である租税に関するその締約国の

term "permanent establishment" means a fixed 1. For the purposes of this Convention, the

をいう。

0

2 恒 久的施設 には、 特に、次のものを含む。

(a) 管理 所

支店

 $(\mathbf{d})$ (c) (b) 工場 事務所

(e) 作業場

(f) 倉庫

(h) (g) 鉱 農場又は栽培場 III. 採石場、 油田その他天然資源を採取する場所

(i)

建物工事現場又は建設若しくは組立ての工事で、六箇月

3 をこえる期間存続するもの 恒久的施設」については、次のことは、含まれないもの

とする。 (a) 又は引き渡すため、施設を使用すること。 企業に属する物品又は商品をもつばら保管 Ļ 展示し、

(b) 展示し、 企業に属する物品又は商品の在庫を、もつばら保管し、 又は引き渡すため、 保有すること。

(c) VC よる加工のため、 企業に属する物品又は商品の在庫を、 保有すること。 もつばら他の企業

(c)

企業のためにもつばら物品若しくは商品を購入し、又は

(d)

include especially: 2. The term "permanent establishment" shall enterprise is wholly or partly carried on.

(a) a place of management;

(b) a branch;

(d) a factory; (c) an office;

(f) a warehouse; (e) a workshop;

(g) a farm or plantation;

(i) a building site or construction or of extraction of natural resources; assembly project which exists for more than six months.

(h) a mine, quarry, oilfield or other place

3. The not be deemed to include: term "permanent establishment" shall

(a) the use of facilities solely for the of goods or merchandise belonging to purpose of storage, display or delivery the enterprise;

(b) the maintenance of a stock of goods or display or delivery; prise solely for the purpose of storage, merchandise belonging to the enter-

the maintenance of a stock of goods or solely for the purpose of processing by merchandise belonging to the enterprise another enterprise;

(d) the maintenance of a fixed place of business solely for the purpose of pur-

# こと。 情報を収集するため、事業を行なり一定の場所を保有する

- なりため、事業を行なり一定の場所を保有すること。はこれらに類する準備的若しくは補助的な性質の活動を行に一企業のためにもつばら広告、情報の提供、科学的調査又
- 入することに限られる場合は、この限りでない。 ただし、その者の行動が当該企業のために物品又は商品を購 その者は、 結する権限を有 5 の 当該 方の締約 規定 一方の締 当該一方の締約国内における恒久的施設とされる。 が適用 国内で他方の締約 約 かつ、 国内で、 (される独立の地位を有する代理人を除く。) これを常習的に行使する場合には、 当該企業の名において契約を締 国の企業に代わつて行動する
- 理由のみでは、当該他方の締約国内に恒久的施設を有するもうものを通じて他方の締約国内で事業活動を行なつたという有する代理人でこれらの者としての業務を通常の方法で行なる。一方の締約国の企業は、仲立人、問屋その他独立の地位を

のとされることはない。

- chasing goods or merchandise, or for collecting information, for the enterprise;
- (e) the maintenance of a fixed place of business solely for the purpose of advertising, for the supply of information, for scientific research or for similar activities which have a preparatory or auxiliary character, for the enterprise.
- 4. A person acting in a Contracting State on healf of an enterprise of the other Contracting State other than an agent of an independent status to whom the provisions of paragraph 5 of this Article apply shall be deemed to be a permanent establishment in the first-mentioned Contracting State if he has, and habitually exercises in that Contracting State, an authority to conclude contracts in the name of the enterprise, unless his activities are limited to the purchase of goods or merchandise for the enterprise.
- 5. An enterprise of a Contracting State shall not be deemed to have a permanent establishment in the other Contracting State merely because it carries on business in that other Contracting State through a broker, general commission agent or any other agent of an independent status, where such persons are acting in the ordinary course of their business.
- の法人も、他方の法人の恒久的施設であることとはならなS。に支配されているという事実のみによつては、いずれの一方若しくは通じないで事業を行なう法人を支配し、又はこれら者である法人又は他方の締約国内において恒久的施設を通じる一方の締約国の居住者である法人が、他方の締約国の居住
- of The fact that a company which is a resident of a Contracting State controls or is controlled by a company which is a resident of the other Contracting State, or which carries on business in that other Contracting State (whether through a permanent establishment or otherwise) shall not of itself constitute either company a permanent establishment of the other.

1. 国に 動 産 いおい から生ずる所得に対しては、 て租税を課することができる。 当該不動 産が存在する

2 備、 利の対価として料金(金額が確定しているかどうかを問 よるものとする。不動産には、いか「不動産」の定義は、当該財産が 用益権並びに鉱石、 属する財産、 )を受け取る権利を含む。 不動産に関する一般法の規定の適用がある権 農業又は林業に用 水その他の天然資源 には、 船舶及び航空機は、 いられている家 かなる場合にも、 存在する の採取又は採取 約国 利、 畜 一の法令 不動産と 類及び設 不 動産 不動 わな の権 産 VC K

3 1 よる使用から生ずる所得について適用する。 の規定は、不動産の直接使用、 賃貸その他のす ~ 7 0 形

4 用される。 の活動に使用される不動産に係る所得についても、 1 3 0 規定は、 企業の不動 産に 係る所得及び自由職業 また、 適

第五 条

1 業を行なわない限 することができる。 一方の締 围 内に 約国 ある恒久的施設を通じ の企業の利得に対しては、 b 当 一方の締約 該 一方の締約 国の て当該他 国に 企業が他 方の お その企 5 締 てのみ租 方の締約 約 業 国内 小が他 国内 で事 方の 税 を

アラブ連合との租税

(所得)

perty is situated. in the Contracting State in which such pro-Income from immovable property may be taxed

defined in accordance with the law of the Concraft shall not be regarded as immovable proand other natural resources; ships and airor the right to work, mineral deposits, sources perty and rights to variable or fixed payproperty apply, usufruct of immovable proprovisions of general law respecting immovable culture and forestry, rights to which the perty, livestock and equipment used in agrition is situated. The term shall in any case tracting State in which the property in ques-2. The term "immovable property" shall be perty. ments as a consideration for the working of, include property accessory to immovable pro-

Article shall apply to income derived from 3. The provisions of paragraph I of this from immovable property of an enterprise and this Article shall also apply to the income 4. The provisions of paragraphs 1 and 3 of form of immovable property. the direct use, letting, or use in any other

Article

the performance of

to income from immovable property used for

professional services.

on business in the other Contracting State ing State shall be taxable only in that Con-1. The profits of an enterprise of a Contracttherein. through a permanent establishment situated tracting State unless the enterprise carries If the enterprise carries on business

9 課することができる。 にある る部 怕 分に 久的 つい 施設 その企業の利 を通じ てのみ、 て当該 14 得 該 iζ 他方の 対 他方の締約国内で事業を行 Ľ 締 当該恒久的 約 H VC お いて租 施設に帰 税 を な 世

2

力 の

縮

約

国の企業

が他

Īj

締約国

内

ある

恒久的

施

設

を

得が、当該恒久的施設に帰せられるものとする。 業であるとすれば、 類似の活動を行ない、 して当 いおい 全く独立の立場で、 て、 該他 当該恒久的施設が 方の締約 当該恒久的 国内で かつ、 取 引を 事業を行 当該恒 施設 行なう別個の 同一又は類 が取得するとみられる利 久的施 なう場合には、 似の条件で同 設を有する企業 かつ分離 谷 L た企 二义 締約

さ 恒久的施設の利得を決定するに際しては、経営費及び一般 恒人的施設の利得を決定する締約国内で生じたか又は他の場所 管理費を含む費用で、その恒久的施設のために生じたものは、 恒久的施設の利得を決定するに際しては、経営費及び一般

慣行が ない。 との条匠 の総 2 Õ が租 額の 規定 いられる配分の方法は、その方法によつて得た結果が 一方の締 規定する原則に適合するようなものでなければなら 当該 よつて決定することを妨げるものではない。 税を課されるべき利得をその慣行とされている配 は 約 企業の各構成部分への配分 旧 K 久的施設 において行なわれている場合には、 に帰せられるべき利得を企 VC よつて決定 業 ただ その とする 0 利

4

as aforesaid, the profits of the enterprise may be taxed in that other Contracting State but only so much of them as is attributable to that permanent establishment.

2. Where an enterprise of a Contracting State carries on business in the other Contracting State through a permanent establishment situated therein, there shall in each Contracting State be attributed to that permanent establishment the profits which it might be expected to make if it were a distinct and separate enterprise engaged in the same or similar activities under the same or similar conditions and dealing wholly independently with the enterprise of which it is a permanet establishment.

3. In the determination of the profits of a premanent establishment, there shall be allowed as deductions expenses which are incurred for the purposes of the permanent establishment including executive and general administrative expenses so incurred, whether in the Contracting State in which the permanent establishment is situated or elsewhere.

4. Insofar as it has been customary in a Contracting State to determine the profits to be attributed to a permanent establishment on the basis of an apportionment of the total profits of the enterprise to its various parts, nothing in paragraph 2 of this Article shall proclude that Contracting State from determining the profits to be taxed by such an apportionment as may be customary; the method of apportionment as may be customary; the wethod of apportionent as may be a customary; the will be such that the result shall be in accordance with the principles laid down in this Article.

5

恒

久的施設が企業のために行なつた物品又は商品の単なる

7

の限りでない。

に含まれる場合には、これらの条の規定は、この条の規定に

他の糸で別個に取り扱われている種類の所得が企業の利得

よつて影響されることはない。

第六条

別の方法を用いることについて正当な理由があるときは、こ

毎年同一の方法によつて決定するものとする。ただし、

6

1から5

までの規定の

適用

Ŀ

恒久的

施設に帰せられる利

購入を理由としては、

5

かなる利得もその恒久的施設に帰せ

れることはない。

利機船、 得に 係航

1 2 税を免除する。 ることによつて取得する利得に対しては、 アラブ連合共和国 方の締 約国 の企業が船舶又は航空機を国際運輸 の居住者である企業は、 他方の締約国 船舶又は航空機 に運用 の和

す

3 約国の企業がいかなる種類の共同計算に参加している場合に ついても、同様に、適用する。 1及び2の規定は、海運又は航空運送に従事する一方の締

を免除される。

を国際運輸に運用することについて、日本国における事業税

4 者に対して支払う配当については、 取得する場合には、その法人が他方の締約国の居住者でない 方の締 | 約国の居住者である法人がこの条に 他方の締約国の租税を免 · う 利 得を

> manent establishment by reason of the mere goods or merchandise for the enterprise. purchase by that permanent establishment of

there is good and sufficient reason to the mined by the same method year by year unless to the permanent establishment shall be deterof this Article, the profits to be attributed 6. For the purposes of the preceding paragraphs contrary.

of this Convention, then the provisions of are dealt with separately in other Articles those Articles shall not be affected by the 7. Where profits include items of income which provisions of this Article.

### Article

of participations in pools of any kind by an this Article shall likewise apply in respect 2. In respect of the operation of ships or exempt from tax of the other Contracting State. an enterprise of a Confracting State shall be craft in international traffic carried on by enterprise of a Contracting State engaged in 3. The provisions of paragraphs 1 and 2 of United Arab Republic, that enterprise shall by an enterprise which is a resident of the aircraft in international traffic carried on be exempt from the enterprise tax in Japan. 1. Profits from the operation of ships or air-

be exempt from tax of that other Contracting resident in the other Contracting State, shall by that company to persons which are not dent of a Contracting State, dividends paid cle are derived by a company which is a resi-4. Where profits as referred to in this Artishapping or air transport.

5

る企特 利業殊得に関 係係

> る両 0 より構成され 糸約の 締約 九百 1六十 K 規定が適 間 この取 た航空運送企業に対する課税の相互免除に関す 四 年四月二十 極 用される日から効力を失うものとする。 は、 この条約が効力を生じたときは、 七日 にカイ 口で交換された公文に

### 第七条

1 (b) (a) 場合 0 経営、 同一の者が しくは資本に直接若しくは間接に参加する場合又は 方の 支配若しくは資本に直接若しくは間 締 約 一方の締約国の企 K の企 業が他 方の 締約国 業及び他方の締約国の の企業の経営、 接に参加 企業 支配 する

ものは、その企業の で、 がなかつたならば 条件と異 商業上又は資金上の関係に であつて、 その条件のために当該一方の企業の利得とならなかつた なる条件 その 5 が す 利得に算入して課税することができる。 方の企業の利得となつたはずである利得 設 n の場 けられ 合に おいて独立の企業間に設けら 又は課されるときは、 おいても、 両 企業間に、 その )条件 その れる

Article

vention have effect.

prises shall, on the entry into force of this exemption from taxation on air transport enter-Cairo on April 27, 1964, for the reciprocal States constituted by the Notes exchanged in 5. The Arrangement between the Contracting

Convention, cease to be effective as from the

dates from which the provisions of this Con-

### Where

- (a) an enterprise of a Contracting State State, or an enterprise of the other Contracting the management, control or capital of participates directly or indirectly in
- the same persons participate directly the other Contracting State, Contracting State and an enterprise of trol or capital of an enterprise of a or indirectly in the management, con-

(b)

those conditions, have not so accrued, may be would, but for those conditions, have accrued commercial or financial relations which differ and in either case conditions are made or taxed accordingly. included in the profits of that enterprise and to one of the enterprises, but, by reason of pendent enterprises, then any profits which from those which would be made between indeimposed between the two enterprises in their

to the liability of that enterprise to pay tax tion authority concerned is inadequate to law of either Contracting State in relation paragraph shall affect the application of the paragraph, the profits which might be expected determine, for the purposes of the preceding 2. If the information available to the taxato accrue to an enterprise, nothing in that

2

一方

0

締

約国 用上、

の課

情

が1 すれ

0 か

規

定

適

企

業の利得となつたはずである利 税当局が入手することができる

· 分で

ない場合には、

1 の 規 定 は 、

当該一

方の締約国の法令

得 を決定するため十

方の 締

払う当該企業の義務に関して定める当該一 約国 の法令に基づいて決定された額に対して租税を支

である限り、1の原則に従つて適用されなければならない。令は、当該課税当局が入手することができる情報により可能の適用に影響を及ぼすものではない。ただし、このような法

### 第八条

1 2 支払り配当に対しては、 することができる。 Ŧī. Ų 也 ついては、さらに、 0 所得に対する租税、 支払う配当に パー 商業上の利得に対して 0 ントをこえない税率で課することができる。 附加税のみを課するものとする。 アラフ 日本国 他の資産から分配されない 度の課 t これを支払う法人の課税所得又は課税利得で産業 連合 ントをこえない税率で租税を課することができる。 0 居 税所 対しては、 共和国 住 者 得又は課 である法人がアラブ連合共 総所得に課される一 防衛税及び ただし、当 0 居住者である法 日本国に 課される租税の対象となるもの 税利得から分配され、 アラブ連合共 ものである場合に - 国家安全保障税並びにこれら 該配当に おいて当 個人に支払わ 和 人 対し 般所得税を二  $\mathbb{E}$ が 1該配 K H 1本国 ては、 和 お 当の かつ、 国 配当が同 5 は、 0 れる配当に て租税 0 金 居 居 動 積立金 一額の十 住者 当 + 産資本 住 ぷ (上及 |該配 化を課 から じ課 者 1 ľC

shall be applied, so far as the information available to the taxation authority permits, in accordance with the principle stated in that paragraph.

Article 8

on an amount determined under the law of that

Contracting State; provided that such law

1. Dividends paid by a company which is a resident of Japan to a resident of the United Arab Republic may be taxed in Japan at a rate not exceeding 15 per cent of the gross amount of the dividends.

subject only to the tax on income derived Arab Republic. But such dividends shall be 2. Dividends paid by a company which distributed out of the taxable income or procommercial profits if such dividends are chargeable in respect of its industrial and per cent. Dividends paid shall be deducted also be imposed at a rate not exceeding 20 income tax levied on the net total income may national security tax and the supplementary from movable capital, the defence tax, the resident of Japan may be taxed in the United resident of the United Arab Republic to a fits of the same taxable year and not distritaxable income or profits subject to the tax from the amount of the distributing company's buted out of accumulated reserves or other taxes. If paid to an individual, the general

3. (a) Dividends paid by a company which is a resident of Japan whose activities lie solely or mainly in the United Arab Republic shall in the United Arab Republic be treated as mentioned in paragraph 2 of this Article.

# アラプ連合との租税(所得)条約

3

(a)

H

|本国

の居

住者

である法人で、

その活動をもつばら又は

配当については、

アラブ

連合共

和おい

VC

.おいて2にいう取扱行なうものが支払う

7

を受けるものとする。

主としてアラブ連合共和国

一除されるものとする。

(b) のとみなされ 連合共 がアラブ 主としてアラブ連合共和国内において行なわれるも 和 3 K 0 連合 一内にお 定 Įį: b 和国内に 適 用 て行なわ Ę にある何 法人の活 れる場合には、その法人の活 人的施設を 動 恋の九 十パー 通 じてアラブ -t ン 卜以

4 とする。 E [施設の各 一以外の国 アラブ連合共和国において2にいう取扱いを受けるも 本国の居住者であり、 年度 「に及ぶ法人が、 の利得から支払うとみなされる配当に アラブ連合 かつ、その活 :共和国内に 動がアラブ連合共 有する 200 冝 7 久 和

る。当該 る。 7 F 表に計上される特別準備金として留保されることを条件とす る租税のみを課するものとする。 年第十四 連合共和国 温業上 ただし、 に相当する額 該恒久的 ( 準備 一の利 号第三十六条の規 0 税 内に 金に対しては、 |務当局に提出される当 得に 施設 総利得の残余の おお は、 な 対する組税 5 千九 その事業年 て配当として分配したものとみなされ 百三 定を適用 商業上及び産業上の利得に ナパー が課され 十九 中度末 元年の 七 することなく、 該恒久的施設の いる総 ン - から六十日以内にアラ ŀ アラブ連 が、 机利得 毎 九十 合共 年アラ 貸 産業上及 (借対照 和 は対す ・ブ連 1 K t

業を行なりに くすしたすべての金額は、 アラブ連合 のとみなして課税するものとする。 備金とし 1共和 あたつて生じた損失を補償する目的以外の て留保された前記の十パー K [内にある当該恒久的 アラブ連合共和国内で分配され 施 設 t: が、 ン トから取 営業又 I は b 的 事

(b) For the purposes of this paragraph, the activities of a company shall be considered to lie mainly in the United Arab Republic, if 90 per cent or more of such activities are carried out in the United Arab Republic through a permanent establishment situated therein.

4. Dividends, deemed to be paid out of the yearly profits of a permanent establishment maintained in the United Arab Republic by a company which is a resident of Japan whose activities extend to countries other than the United Arab Republic, shall in the United Arab Republic, shall in the United Arab Republic as mentioned in paragraph 2 of this Article.

The permanent establishment shall be considered to have distributed as dividends in the United Arab Republic within 60 days from the closing of its financial year, an amount equivalent to 90 per cent of its total net profits liable to the ray on industrial and commercial profits without applying the provisions of Article 36 of the United Arab Republic Law No.14 of 1939, provided that the remaining 40 per cent of the net profits shall be entered in the local balance sheet submitted annually to the United Arab Republic tax authorities. Such amount shall be subject only to the tax on commercial and industrial profits.

All amounts deducted from the aforesaid 10 per cent set aside to form the special reserve for purposes other than the redemption of losses incurred in the trade or business carried on by that permanent establishment situated in the United Arab Republic shall be deemed to have been distributed in the United Arab tributed in the United Arab Republic and shall be taxed accordingly.

一方の締約国内で生じ、

第九条

が他方の

綵

約

К

の居住者に

支払う利

子に

対しては、

当

**|該一方** 

かつ、当該一方の締約

国の居住者

6には、第五条の規定が適用される。 は保有する恒久的施設を有するときは、適用しない。この場内に、その配当の支払の基因となつた株式又は持分を実質的内に、その配当を支払う法人が居住者である他方の締約国 とり、一方の締約国の居住者である配当の受した。

6 义は所得 ることができず、また、 人が当該 法人の留保所得については、 することができない。 から成るときも、 の全部又は一 一方の を取 締約 他 ħĵ Ó 得する場合には、 国の居住者である法人が他方の締約国 締約国 部が当該他方の締約国内で生じた利得又は所 当該配当に対していかなる和税をも課す の居住者でない者に支払う配当及びそ 当該留保所得に対して留保所得税を 当該支払配当又は当該留保所 当該他方の締約国 d から利得 その法

法上株式から生ずる所得と同様に取り扱われるものをいう。る所得であつて分配を行なう法人が居住者である締約国の税る債権を除く。)から生ずる所得及びその他の持分から生ず発起人株式その他利得の分配を受ける類似の権利(信用に係り)との条において「配当」とは、株式、受益株式、鉱業株式、ケーとの条において「配当」とは、株式、受益株式、鉱業株式、ケー

5. The provisions of paragraphs 1 and 2 of this Article shall not apply if the recipient of the dividends, being a resident of a Contracting State, has in the other Contracting State, of which the company paying the dividends is a resident, a permanent establishment with which the holding by virtue of which the dividends are paid is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 5 shall apply.

6. Where a company which is a resident of a Contracting State derives profils or income from the other Contracting State, that other Contracting State may not impose any tax on the dividends paid by the company to persons who are not residents of that other Contracting State, or subject the company's undistributed profits to a tax on undistributed profits, even if the dividends paid or the undistributed profits consist wholly or partly of profits or income arising in that other Contracting State.

7. The term "dividends" as used in this Article means income from shares, "jouissance" shares or "jouissance" rights, ming shares, founders' shares or other similar rights, not being debt-claim, participating in profits, as well as income from other corporate rights as similated to income from shares by the taxation law of the Contracting State of which the company making the distribution is a resident.

### Article 9

 Interest arising in a Contracting State and paid by a resident of that Contracting State to a resident of the other Contracting

ことができる。 の締約国において、その締約国の法令に従つて租税を課する

2 するものとする。)その他のすべての種類の信用に係る債権 れる債 権 を除く。これについては、第四条の規定を適用有無を問わず、公債、債券又は社債(不動産によつて担保さ の税法上貸付金から生じた所得と同様に取り扱われるも から生じた所得及びその他の所得で当該 この条において「利子」とは、 利 得 0 所得が生じ 分配を受ける権 よつて担保さ た締約国 のを 利 0

される。保有する恒久的施設を有する場合には、第五条の規定が適用保有する恒久的施設を有する場合には、第五条の規定が適用生じた他方の締約国内に、その利子を生じた債権を実質的に3一方の締約国の居住者である利子の受領者が、その利子が

いう。

らば支払者及び受領者が合意するとみられる金額をこえるとなつた債権を考慮する場合において、その関係がなかつたなの関係により、支払われた利子の金額が、その支払の基因とも支払者と受領者との間又はその双方と第三者との間の特別

No State may be taxed in the first-mentioned Contracting State according to the law of that first-mentioned Contracting State.

2. The term "interest" as used in this Article means income from Government securities, bonds or debentures (exclusive of debts secured by mortgages on real estate, in which case the provisions of Article 4 shall apply), whether or not carrying a right to participate in profits, and debt-claims of every kind as well as all other income assimilated to income from money lent by the taxation law of the contracting State in which the income arises.

3. The provisions of Article 5 shall apply if the recipient of the interest, being a resident of a Contracting State, has in the other Contracting State in which the interest arises a permanent establishment with which the debtclaim from which the interest arises is effectively connected.

tween the payer and the recipient or between both of them and some other person, the amount of the interest paid, having regard to the amount debt-claim for which it is paid, exceeds the amount which would have been agreed upon by the payer and the recipient in the absence of such relationship, the provisions of this Article shall apply only to the last-mentioned amount. In that case, the excess part of the payments shall remain taxable according to the law of each Contracting State.

るかどうかを問わない。)が一方の締約国内に恒久的施設を一される。ただし、利子の支払者(一方の締約国の居住者であ若しくは居住者であるときは、その締約国内で生じたものと利子は、その支払者が一方の締約国又はその地方公共団体

5

分に対し、

てのみ適用する。この場合には、支払われた金額

各締約国の法令に従つて租税を課することができ

きは、

との条の規定は、

その合意するとみられる金額につい

のうち超過

5. Interest shall be deemed to arise in a Contracting State when the payer is that Contracting State itself, a local government or a resident of that Contracting State. Where, however, the person paying the interest, whether he is a resident of a Contracting

する締約国内で生じたものとされる。 施設が負担するときは、その利子は、当該恒久的施設が存在当該恒久的施設について生じ、かつ、その利子を当該恒久的

有する場合において、その利子を支払う基因となつた債務が

### 第十名

とができる。料の金額の十五パーセントをこえない税率で租税を課すると料の金額の十五パーセントをこえない税率で租税を課するとの使用料に対しては、当該一方の締約国の居住者に支払われて一方の締約国内で生じ、他方の締約国の居住者に支払われ

2 権利 ての種類の支払金をいう。 若しくは学術上の経験に関する情報の対価として受けるすべ 学術上の著作物の著作権、 使用若しくは使用 この条において「使用料」とは、文学上、 図面、 の対価として、産業上、 秘密方式若しくは秘密工程の使用若しくは使用 の権利の対価として、又は産業上、商業上 特許権、 商業上若しくは学術上の設備の 商標権、 美術上若 意匠若し こくは模 しくは 0

租税を課することができる。 料及び使用料に対しては、引き続き両締約国の法令に従つて3 この条約の規定にかかわらず、映画フィルムに関する賃貸

4 れる。 連合共和国 てアラブ連合共和国で発行され、かつ、千九百三十九年 との条の規定は、 用 [法律第十四号第一条の規定に従つて課税され しない。 発起人株式が、8にいう権利の対価とし この場合には、 第八条の規定 か適 のアラブ る場 用 7

State or not, has in a Contracting State a permanent establishment in connection with which the indebtedness on which the interest is paid was incurred, and such interest is borne by such permanent establishment, then such interest shall be deemed to arise in the Contracting State in which the permanent establishment is situated.

## Article 10

1. Royallies arising in a Contracting State and paid to a resident of the other Contractaing State may be taxed in the first-mentioned Contracting State at a rate not exceeding 15 per cent of the gross amount of the royalties.

2. The term "royalties" as used in this Article means payments of any kind received as a consideration for the use of, or the right to use, any copyright of literary, artistic or scientific work, any patent, trade mark, design or model, plan, secret formula or process, or for the use of, or the right to use, industrial, commercial or scientific equipment, or for information concerning industrial, commercial

3. Notwithstanding the provisions of this Convention, rents and royallies in respect of cinematographic films may continue to be taxed under the laws of both Contracting States.

4. The provisions of this Article shall not apply where founders' shares are issued in the United Arab Republic as a consideration for the rights mentioned in paragraph 2 of this Article and taxed in accordance with the provisions of Article 1 of the United Arab Republic Law No. 14 of 1939. In such a case, the provisions of

四六三

Article 8 shall apply.

5 きは、 が じた権 1 その 利 規定は、 使用 文は 用 元しな 財 料 ?産を実質的 5 が生じ 一方の との場合には、 た他方の締約 縮 約約  $\mathbb{R}$ 保 一の居 有 する恒久的施設 住 第五条の規定が適 国内に、その使用 者である使用 を有すると 料の受領者 用され 料を生

6 関 となつた使用、 課することができる。 た金額のうち超過分に対し、 る金額をこえるときは、この条の規定は、 係 れる金額についてのみ適用する。この場合には、支払われ 支払者と受領者との間又はその双方と第三者との がなかつたならば支払者及び受領者が合意するとみられ 係により、 支払われた使用料の金額が、 権 利义は情報を考慮する場合にお 各締約国二法合二従つて租税を その合意するとみ その支払の い て、 間 の特別 その 基因

7 体若しくは居住者であるときは、 払うときは、 設を有する場 C とされる。ただし、 あるかどうかを問 使用料は、その支払者 で生じたものとされる。 その使用料は、 合において、 使用料の支払者(一方の締約 わない。 かっかい その ) が一方の 14 一該恒久的 使用料を当該恒久的施設 その 統約国又以 縮 )締約 約国 施設が存在する締 国内 内で生じたもの 七二地方 に恒 国の居住者 人的 公共团 が支 施

### 第十一条

は ができる。 当該不動産が存在する締約国において租税を課すること 깯 、糸2に定義する不動産の譲渡から生ずる収益に対 八して

> 5. The provisions of paragraph 1 of this Artishall apply. rise to the royalties is effectively connected ment with which the right or property giving which the royalties arise a permanent establish-State, has in the other Contracting State in royalties, being a resident of a Contracting cle shall not apply if the recipient of the In such a case, the provisions of Article

of the royalties paid, having regard to the according to the law of each Contracting State. cess part of the payments shall remain taxable sions of this Article shall apply only to the the absence of such relationship, the proviagreed upon by the payer and the recipient in paid, exceeds the amount which would have been use, right or information for which they are both of them and some other person, the amount tween the payer and the recipient or between 6. Where, owing to a special relationship belast-mentioned amount. In that case, the ex-

dent of that Contracting State. Where, however, royalties shall be deemed to arise in the Conment by which the royalties are paid, then such a resident of a Contracting State or not, has the person paying the royalties, whether he is ing State itself, a local government or a resitracting State when the payer is that Contract-7. Royalties shall be deemed to arise in a Conlishment tracting in a Contracting State a permanent establish-State in which the permanent estabis situated.

may be taxed in the Contracting State in which perty, as defined in paragraph 2 of Article 4, such property is situated. I. Gains from the alienation of immovable pro-

含む。 久的施設の譲渡又は当 から生ずる収益に対しては、 ることができる。ただし、 る収益(単独に若しくは企業全体とともに行 使用することが 約国の居住 お 5 )に対しては、当 Ó て使用 当者が自 約 する 2国の企業が他方の締約国内に有 できる固 事 ili 職 業 該固定的 業を行なうため 該他方の 定的施設に係 Ш 産産の 第六条1にいう種 当該動産の譲渡者が 施設 . . 縮 常をな 約国 0 譲 いる動 他 にお 方の 渡 す から 産 動 産又 類 0 締 いて租税を課 なわれる当該恒 する恒久的施 ) 譲渡 の動産 生 約 居住 ずる収 K H から生ず K 上する締 方の お 譲 益 5 渡 設 1 を 締

3 ら生ずる収益に対しては、当 一税を課することができる。 1 及び 2 いう財産又は資産以外の財産又は資 該 収益が生 じた締約 產 K 10 Ó 譲渡 お 5 7 か

いてのみ租税を課することができる。

### 第十二名

1 当該他方の締約国内に 他方の締約国 動を遂行する とができる。 じて合計 動に 対しては、 限り、 統約 関 百八十三 L 当該 して取 その者がそのような固 闪 ために通 ĺΚ 当該固 に有せず、 で得する所 一方の 居 日をとえる期間当 住者が自 に前記の 定的 「常使用することが 締 |施設に帰せられる部分又は前記 約国にお かつ、その者 得については、その者 圳 山職業その 間 滞在する場合には、 一該他 [定的施設を有 Ś ての が当 他類似の性 方の締約 できる固 み租税 該課 四定的施設を行が自己の活 税年 するか又は を課すると E 内 質の独立 当 度な通 一該所 滞 在

> employed in a 2. Gains from the alienation of movable proble property is a resident. ing State of which the alienator of such movaticle 6, shall be taxable only in the Contractof the kind referred to in paragraph 1 of Argains from the alienation of movable property taxed in the other Contracting State. However, enterprise) or of such a fixed base, may be tablishment (alone or together with the whole from the alienation of such a permanent esing professional services, including such gains Contracting State for the purpose of performa resident of a Contracting State in the other perty pertaining to a fixed base available to the other Contracting State or of movable proan enterprise of a Contracting State has in perty forming part of the business property permanent establishment which

3. Gains from the alienation of any property or assets other than those mentioned in paragraphs I and 2 of this Article may be taxed in the Contracting State in which the gains are derived.

# Article 12

in State in respect of professional services or other independent activities of a Similar character shall be taxable only in that Contracting State unless he has a fixed base regularly available to him in the other Contracting State for the purpose of performing his activities or he is present within that other Contracting State for a period or periods exceeding in the aggregate 103 days in the taxable year concerned. If he has such a fixed base or remains in that other Contracting that aforesaid period or periods, the income may be taxed in that other Contract-

ラブ連

一合との租税

(所得)

条

きる。 期間を てのみ、 通じ 当該他 当 一該 他 方の 方 Ō )締約 締 約 国に 国 内に おいて租税を課することがで お 5 . て 取 得される部 分につ

2 科医師及び公認 育上 自由 の独立 職 業 の活動並びに医師、 K 会計士の独立の活動を含む。 は、 特に、学術上、文学上、 弁護士、 技術士、 美術上及び 建築士、 歯 教

### 第十三条

**す勤** る務に 文層

1 これらに類する報 課することができる。 0 合には、 で行なわれ 第 約国 10 お の居住者 Ŋ その勤務から生ずる報酬に対しては、 ない 7 租税を課することができる。 第十 限り、 が動に が勤 六条及び第十 当該 勤務 務 対しては、 K 関し |が他方の締約国内で行なわ 一方の締約国にお て取 七条の規定を留 その勤務 得する給料、 が他方 'n 7 保し 当該他方の ハの締 賃金 のみ租税を て、 ñ 約 そ , る場 一方 K 0 内 他 締

2

1の規定

VC

かかわらず、一方の締

約国の

居住 K

者が

他

方の

締

す

ることができる。

ことを条件として、 約国内で行なう勤務

当 K

一該 関

一方の

締

約国におい

てのみ租税を課

して取得する報酬

対しては、

次

0

- (a) えない その受領者がその課 期 間 当 該他 方の 締 税年度を通じて合計百 約 K 内に 滯 在 Ļ 八 十三日 をと
- (b) これに代わる者から支払われ、 その 報 酬 が当該 他 方の締 約国 かつ、 の居住者で な S 雇用者又は

butable to that fixed base or is derived in said period or periods. that other Contracting State during the aforeing State but only so much 0 **f** it as is attri-

especially independent scientific, literary, sicians, lawyers, engineers, architects, denas well as the independent activities of phyartistic, educational or teaching activities 2. The term "professional services" includes tists and accountants.

derived therefrom may be taxed in that other ment is so exercised, such remuneration as is shall be taxable only in that Contracting the other Contracting State. If the employ-State unless the employment is exercised in tracting State in respect of an employment remuneration derived by a resident of a Con-Contracting State. and 17, salaries, wages and other similar Subject to the provisions of Articles 14,

16

- an employment exercised in the other Contractresident of a Contracting State in respect of 2. Notwithstanding the provisions of paragraph mentioned ing State shall be taxable only in the firstl of this Article, remuneration derived by a (a) the recipient is present in the other Contracting State if:
- periods not exceeding in the aggregate Contracting State for a period or 183 days in the taxable year concerned,
- (b) the remuneration is paid dent of the other Contracting State, half of, an employer who is not a resiby, or on be-

ジオ又はテレビジョン

の俳優、

音楽家その他の芸能人及び運 動により取得する所得に対

動 ラ

演劇、

映画、

第十二条及び第十三条の規定にかかわらず、

第十五条

家がこれらの者としての個人的

活

その活動が行なわ

れる締約国において租税を課すること

ができる。 ては、

第十六条

ては、 3 役員の資 する報酬に対しては、 方 できる。 輸に運用 1及び2の 当該他方の締約国において租税を課することができる。 0 格 第十 締約国の居住者が他 で取得 四 規 条 定に する役員報酬及びこれに類する支払金に対し かかわらず、一方の !方の締約国の居住者である法人の 締 約国

### (c) 施 設又は固定的施設により負担されないこと。 その報酬が当該他方の締約国内に雇用者が有する恒久的 する船舶又は航空機において行なわれる勤務 その締約国において租税を課すること の企 業が に関 $\mathbb{R}$ 際

craft operated in international traffic by an of this Article, remuneration in respect of enterprise of a Contracting State may be taxed an employment exercised aboard a ship or airin that Contracting State. Notwithstanding the preceding provisions which the employer has in the other manent establishment or a fixed base Contracting State.

(c) the remuneration is not borne by a per-

# Article 14

of a company which is a resident of the other Contracting Contracting State may be taxed in that other capacity as a member of the board of directors by a resident of a Contracting State in his Directors' fees and similar payments derived State.

### Article 5

and by athletes, from their personal activities as such may be taxed in the Contracting State in which these activities are exercised. radio or television artistes, and musicians, tainers, such as theatre, motion picture, 12 and 13, income derived by public enter-Notwithstanding the provisions of Articles

# Article

muneration paid to a resident of a Subject to the provisions of paragraph 1 of Article 17, pensions and other similar re-Contracting

### 7 ラブ連合との租税 (所得) 条約

過去の

第十七条1の規定を留保して、一方の締約国の居住者に対し

勤務につき支払われる退職年金その他これに類する報酬

(a)

他

方の締

約

国内にある大学若しくは学校の学生として、

対し ては、 当 該 方の 締 約国に お 5 てのみ租税を課すること

第十七条

が

できる。

金若しくは当該政府の支出に係る基金から支払われる報酬 もあるものを除く。)でたい限り、当該他方の締約国の租税 住のため当該一方の締約国に入国することを許可され とを許可された者(当該一方の締約国の国民であるか又は永 民でなく、かつ、 』年金を含む。)については、その個人が他方の締約国 一務について、 政府 公共団体を含む。)が支払い、又は当該政府が設立した基 の職務の遂行として一方の締約国 個人に対して、 永住のため当該他方の締約国に入国すると 当 「該一方の締約国の政府 の政府に提供され た者で の国 地地 (退 た

2 払われる報酬又は退職年金については、 なわれる営業又は事業に関連して提供された役務について支 び第十六条の規定を適用する。 一方の締約国の政府(地方公共団体を含む。)によつて行 第十三条、 第十四条

を免除するものとする。

### 第十八条

方の締約国 の居住者で、もつばら、

State in consideration of past employment shall be taxable only in that Contracting State

of a governmental nature shall be exempt from such Government in the discharge of functions mentioned Contracting State. mitted for permanent residence to the first-State without being also a national of or adpermanent residence to that other Contracting individual is a national of or admitted for tax of the other Contracting State, unless the individual in respect of services rendered to to which such Government contributes, to any funds which are created by such Government or ing local governments thereof), or paid out of I. Remuneration, including pensions, paid by Government of a Contracting State (includ-

with any trade or business carried on by the respect of services rendered in connection shall apply to remuneration or pensions in 2. The provisions of Articles 13, 14 and 16 Government of a Contracting local governments thereof). State (including

# Article

State solely: temporarily present in the other Contracting A resident of a Contracting State, who is

(a) as a student at a State, or school in that other Contracting university, college

1

第二十条

源

泉徴収により納付されるアラブ連合共和

国の租税は、

Н

本

アラブ連合共和国内に源泉がある所得について直接に又は

え者の報気授、研

0 おいて提供された役務に対する報酬としての金額についても 該他方の締約国 当該他方の締 教育若 し又は生計のために必要であることを条件とする。 規定を適用する。 しくは訓練の 約国 において租税を課さない。 内に一時的に滞在するものに ただし、当該役務が教育若しくは訓練に ための海外からの送金又は奨学金に対 当該他方の締約国に ついては、生計、 し当

関 ح

ship grant.

tion or training or in respect of a scholarfor the purposes of his maintenance, educa-State in respect of remittances from abroad

The same shall apply to any amount

or training or are necessary for the purpose such services are in connection with his studies in that other Contracting State, provided that representing remuneration for services rendered

his maintenance

(c)

政府若しくは宗教、

慈善、

学術若

しくは教育の団体からの

(c) 9

or award

as

ໝ

business or technical apprentice,

ための交付金、

手当若しくは奨

s hall

not be taxed in the other Contracting

educational organisation

study or research from a governmental,

a recipient of a grant, allowance

for the primary purpose of

religious, charitable, scientific or

主として勉学若しくは研究の

|金の受領者として、

(b)

事業若しくは技術の修習者として、又は

研究に対する報酬に対し、 ため当該 な 度の教育又 期間 方の締 他 当該施設 方の は学術 約 国の居住者で、 締 | 約国を訪れるものについては、その教育又は VC 研究のため おいてもつぱら教育又は学術研究を行なう 当該他方の締約国において租税を課 Ō 他方の締約国内の大学その他 施設の招請により、二年 をとえ !の高

### 第十

さない。

### 九条

A resident of a Contracting State who, at

Article

remuneration for such teaching taxed in that other Contracting State on his period not exceeding two years shall not be tific research at such institution for a solely for the purpose of teaching or scien-State, visits that other Contracting State scientific research in the other Contracting other establishment for higher education or the invitation of a university, college or

# Article

against Japanese tax of tax payable Japan regarding the allowance as a credit 1. Subject to the provisions of the law of

# アラブ連合との租税(所得)条約

することに関する日本国の法令の規定に従い、 て納付さ 0 K れる日 におい 1本国 て納 一の租税 付され る租税を日本国の租 ら増除さ れるもの その所得に 税 とする。 から控除 つ

(a) されたはずである税率を適用することができる。 除する。 保して、 該所得についてこの免除が行なわれなかつたとすれ 課税することができるものである場合に で得し、 アラブ連合共和国 その者の残余の所得に対する租税の計算にあたり、 もつとも、 アラブ連合共和国は、 14 該 所得 がこの条約の規定に従い日 この場合におい 一の居住者である者 当該所得に て、 が日本国 アラブ id つい 本国にお (b) て租税を免 連合共和 の規定を留 から所得 にば適用 V 7

(b) ただし、 される租税の額のうち、 い日本国において課税することができるものである場合に 本国におい 得し、 アラブ 分をこえないものとする。 アラブ連合共和国 当該 その控 連合共 て納付される租税の 所得が第八条、 和国 除の額は、 の居住者である者が日 は、 日本国 当該控除が行なわれる前に算出 その者の所得に対する租税から 第九条及び第十条の規定に従 から取得する所得に対応す 額と等し 本国 い額を控除する。 から所 14

## 第二十一条

J. 況にある当該他方の締約国 ることがある租税又はこれに関連する要件と異なり又はそれ 方の締 約 К 0 国 民は、 の国民が課されており又は課され 他 方の締約 国に におい て、 ű 様の状

遇内 国民 待

> country other than Japan, United Arab Republic credit against Japanese tax payable in respec United Arab Republic shall be allowed as a in respect of income from sources within the tax payable, whether directly or by deduction,

- on the remaining income of that person, Where a person being a resident of the had not been so excepted. been applicable if the exempted income apply the rate of tax which would have from tax but may, of this paragraph, exempt such income to the provisions of subparagraph (b) United Arab Republic shall, subject vention, may be taxed in Japan, the ance with the provisions of this Confrom Japan and that income, in accord-Entied Arab Republic derives income in calculating tax
- (b) Where a person being a resident of the paid deduction from the tax on the income of 9 and 10 may be taxed in Japan, the tax, as computed before the deduction not, however, exceed that part of the that person an amount equal to the tax United Arab Republic shall allow as a ance with the provisions of Articles 8 from Japan and that income, in accord-United Arab Republic derives income is given, which is appropriate to the income derived from Japan, in Japan. Such deduction shall

# Article

nected therewith which is other or more burden-State to any taxation or any requirement connot be subjected in the other Contracting 1. The nationals of a Contracting State shall

ļ りも重 い租税又はこれに関連する要件を課されることはな

2

- (a) 国民」とは、 方の締約国の国籍を有するすべての個人
- (b) えられたすべての法人、 一方の締約国 |で施行されている法令によりその地位を与 組合その他の団体

をいう。

に対する租税は、 利に課されることはない。 たう当該他方の締約国の企業に対して課される租税よりも 一方の締約国 0 企業が他方の 当該他方の締約国において、 )締約国· 内に有する恒久的施設 同様の活動を

る租税上の人的控除、 養するための負担を理由として自国 との規定は、一 して認めることを義務づけるものと解してはならない。 方の締約 救済及び軽減を他方の締約国の居住者 国に対し、 家族の状況又は家族を の居住者に対し して認め

4 ことがある租 は支配されて Ø りも重い租税又はこれに関連する要件を課されることはない。 方の締約国 一又は二以上の居住者によつて直接又は間接に所有され又 方の締約国 税又はこれに関連する要件と異なり又はそれよ 0 b 類似の他の企業が課されており又は課される るものは、 の企業で資本の全部又は一 14 一該一方の締約国において、当該 部が他方の 締約 IN

と の 条 の規定は、 次のことに影響を及ぼすものと解しては

5

some than the taxation and connected requireor may be subjected. tracting State in the same circumstances are ments to which nationals of that other Con-

- The term "nationals" means:
- (a) all individuals possessing the nationality of a Contracting State;
- (b) all legal persons, partnerships and such from the law in force in a Contracijng State. associations deriving their status as

which an enterprise of a 3. The taxation or a permanent establishment ing on the same activities. prises of that other Contracting State carrying State than the taxation levied on enterless favourably levied in that other Contractin the other Contracting State shall not be Contracting State has

or family responsibilities which it grants to taxation purposes on account of civil status sonal allowances, reliefs and reductions for dents of the other Contracting State any obliging a Contracting State to grant to resi-4. Enterprises of a Contracting State, the its own residents. This provision shall not be construct ت ت

more residents of the other Contracting State, enterprises of that first-mentioned Contractshall not be subjected in the first-mentioned controlled, directly or indirectly, by one or capital of which is wholly or partly owned or ing State are or may be subjected nected requirements to which other similar or more burdensome than the taxation and conquirement connected therealth which is other Contracting State to any taxation or any re-

construct as affecting: 5. The provisions of this Article shall not be

条約

議て不 及び 協立

(b) (a) ならない。 りも低い税率で租税を課する日本国の法令の 日本の法人について、

連合共和 共和国法 において適用すること並びに千九百三十九年のアラブ連条1及び2並びに第十一条の二の規定をアラブ連合共和 千九百三十九年のアラブ連合共和国法律第十 国に 律第十四号第五条及び第六条の規定 おいて行なわれる免除 K のアラブ連合・連合共和国 よりアラブ 四号第十

6 この条におい . T 租税」とは、すべての種類の税をい · う。

1 ると認めるときは、 よりこの条約の規定に適合しない課税を受け又は受けるに至 の事件について申立てをすることができる。 自己が居住者である締約国の権限のある当局に対し、 方の締約国の居住者は、一方又は双方の締約国 両締約国の法令で定める救済手段とは別 の措置に そ

3 2 関 る当局 の事件を解決するように努めるものとする。 るため、 限のある当局 して生ずる困難又は疑義を合意によつて解決するように努 >当局が適当な解決を与えることができないときは、その申立てが正当であると認められ、かつ、その権 約 k 他方の締約国 の権 は、 限のある当局は、 この条約の規定に適合しない課税を回避す の権限のある当局との合意によつてそ この条約の解釈又は適用に かつ、その権限のあ その権

> (a) the provisions of the Japanese law under case of Japanese companies, taxed at a which distributed profits, are in the lower rate than undistributed profits; and

分配される利得に対し留保所得

ょ

規

定

(b)

Arab Republic by Articles 5 and 6 of the United Arab Republic Law No. 14 of the application in the United Arab Rethe exemptions conferred in the United Arab Republic Law No. 14 of 1939 and 2 and Article 11 bis of the United public of Article 11, paragraphs 1 and

6. In taxes of every kind and description this Article the term "taxation"

of which he competent authority of the Contracting State considers that the actions of one or both of Contracting States, present his case to the remedies provided by the mational laws of those this Convention, he may, notwithstanding the for him in taxation not in accordance with the Contracting States result or will result 1. Where a resident of a Contracting State is a resident.

case by mutual agreement with the competent with a view to the avoidance of taxation not authority of the other Contracting State, at an appropriate solution, to resolve the fied and if it is not itself able to arrive if the objection appears to it to be justi-2. The competent authority shall endeavour, accordance with this Convention

3. The competent authorities of the Contracting States shall endeavour to resolve by

め、相互に協議することができる。 条約に規定されていない場合における二重課税を除去するためるものとする。両締約国の権限のある当局は、また、この

の代表者により構成される委員会において行なうととができる。きは、そのような意見の交換は、両締約国の権限のある当局に口頭による意見の交換を行なうことが適当と認められるとるため直接相互に通信することができる。合意に達するため4 両締約国の権限のある当局は、2及び3にいう合意に達す

## 第二十三条

1 用 を含む。)以外のいかなる者にも漏らしてはならない。 の条約の対象である租税の賦課及び徴収に関与する者(当局 交換された情報は、 するため又はこの条約が適用される租税に関する脱税の防止 よる課税がこの条約の規定に適合する場合に限る。)を実施 される租税に関する両締約国 両締約国 必要な情報を交換するものとする。このようにし 0 権 限のある当局は、 秘密として取り扱わなければならず、 |の国内法令(当該国内法令に この条約及びこの 条約 が適 ح 7

のことを行なう義務を課するものと解してはならない。2.1の規定は、いかなる場合にも、一方の締約国に対し、次

行政上の慣行に抵触する行政上の措置を執ること。

(1) 当該一方の締約国若しくは他方の締約国の法令又はその

mutual agreement any difficulties or doubts arising as to the interpretation or application of this Convention. They may also consult together for the elimination of double taxation in cases not provided for in this Convention.

4. The competent authorities of the Contracting States may communicate with each other directly for the purpose of reaching an agreement in the sense of the preceding paragraphs of this Article. When it seems advisable in order to reach agreement to have an oral exchange of opinions, such exchange may take place through a Commission consisting of representatives of the competent authorities of the Contracting States.

### rticle 23

ing States shall exchange such information as is necessary for the carrying out of this Convention and of the domestic laws of the Contracting States concerning taxes covered by this Convention insofar as the taxation thereunder is in accordance with this Convention or for the prevention of fiscal evasion in relation to such taxes. Any information so exchanged shall be treated as secret and shall ont be disclosed to any persons or authorities other than those concerned with the assessment or collection of the taxes which are the subject of this Convention.

a Contracting State the obligation:

(a) to carry out administrative measures

of this Article be construed so as to impose

(a) to carry out administrative measures at variance with the laws or the administrative practice of that or of the

### 四七三

### 四七四

(b) きない資料を提供すること。 いて又はその行政の通常の運営において入手することがで 当該一方の締約国若しくは他方の締約国の法令の下に お

若しくは取引の過程を明らかにするようを情報又は公開 ることが公の秩序に反するような情報を提供すること。 業上、 野菜上、 産業上、 商業上若しくは職業上の秘 す 密

## 第二十四条

のび外 特領交 権事官及 ではない。 に基づく外交官又は領事官の租税上の特権に影響を及ぼすもの この条約の規定は、 国際法の一般原則又は特別の協定の規定

## 第二十五条

2 1 る限りすみやかに東京で交換されるものとする。 この条約は、批准書の交換の日に効力を生じ、 この条約は、 批准されなければならない。批准書は、 かつ、 その でき

の及効批 開び力准 始適発及 用生び

### (a) 日本国におい ては、

規定は、次のものについて適用する。

各課税年度の所得 准書の交換が行なわれた年の一月一日以後に開始する

# (b) to supply particulars which are not

# Article 24

to public policy.

(c) to supply information which would dis-

of that or of the other Contracting normal course of the administration obtainable under the laws or in the

State;

trade process, or information, the disclosure of which would be contrary commercial or professional secret or close any trade, business, industrial,

officials under the general rules of interagreements. national law or under the provisions of special fiscal privileges of diplomatic or consular Nothing in this Convention shall affect the

### Artiele (S)

at Tokyo as soon as possible. instruments of ratification shall be exchanged l. This Convention shall be ratified and the

the date of the exchange of the instruments of 2. This Convention shall enter into force on ratification and its provisions shall have effect:

### (a) jā Japan:

fication takes place. the exchange of the instruments of rati-January in the calendar year in which beginning on or after the first day of as respects income for any taxable year

other Contracting

State;

金に対する租税 本所得に対する租税並びに賃金、給料、手当及び退職年(1) 批准書の交換が行なわれた日以後に課税される動産資い アラブ連合共和国においては、

- 度の密業上及び産業上の利得に対する租税(2) 批准書の交換が行なわれた日以後に終了する各事業年
- る租税及び一般所得税 自由職業その他すべての非商業的職業からの利得に対す自由職業その他すべての非商業的職業からの利得に対する租税(土地税、建物税及びガフィール税を含む。)、抵准書の交換が行なわれた年の不動産から生ずる所得

# 第二十六条

日以前に与えなければならず、その場合には、この条約は、次了させることができる。ただし、その通告は、各年の六月三十対し書面による終了の通告を与えることにより、この条約を終の期間を経過した後に、外交上の経路を通じて他方の締約国にいずれの一方の締約国も、この条約の効力発生の日から五年いずれの一方の締約国も、この条約の効力発生の日から五年

# (b) In the United Arab Republic:

- (1) as respects tax on income from movable capital and tax on wages; salaries, indomnities and pensions, which taxes are due on or after the date on which the exchange of the instruments of ratification takes
- as respects tax on commercial and industrial profits for any accounting period ending on or after the date on which the exchange of the instruments of ratification takes place;
- from immovable property (including the land tax, the buildings lax and the ghaffir tax), tax on profits from liberal professions and all other non-commercial professions and the general income tax, for the calendar year in which the exchange of the instruments of ratification takes place.

The rules in subparagraph (b) of this paragraph shall be correspondingly applicable respectively to the defence tax, to the national security tax and to the supplementary taxes.

# Article 26

Either of the Contracting States may lerminate this Convention after a period of five years from the date on which this Convention enters into force, by giving to the other Contracting State, through the diplomatic channels, written notice of termination, provided that such notice shall be given only on or before the thirtieth day of June in any calendar year,

四七六

(a) のものについて効力を失う。 日本国においては、

アラブ連合との租税(所得)条約

- 課税年度の所得 の通告が与えられた年の翌年の一 月一 日以後に開始する
- (b) アラブ連合共和国においては、
- (1) れる動産資本所得に対する租税並びに賃金、 退職年金に対する租税 その通告が与えられた年の翌年の七月一日以後に課税さ 給料、 手当及
- (2)る各事業年度の商業上及び産業上の利得に対する租 その通告が与えられた年の翌年の七月 一日以後に終了す 税
- (3) 自 租税及び一般所得税 に対する租税(土地税、 由職業その他すべての その通告が与えられた年の翌年の不動産から生ずる所得 非商業的職業からの利得に対する 建物税及びガフィール税を含む。)、
- それぞれ適用する。 (b) の規定は、 防衛税、 国家安全保障税及び附加税についても

この条約に署名した。 以上の証拠として、 下名は、 このために正当な委任を受け、

> to be effective: and, in such event, this Convention shall cease

(a) In Japan: beginning on or after the first day of as respects income for any taxable year January in the calendar year next follow-

(b) In the United Arab Republic:

ing that in which the notice is given.

- as respects tax on income from which taxes are due on or after the salaries, indemnities and pensions, year next following that in which first day of July in the calendar movable capital and tax on wages,
- as respects tax on commercial and first day of July in the calendar ing period ending on or after the industrial profits for any account-

year next following that in which

(2)

the notice is given;

- (3) as respects tax on income derived the land tax, the buildings tax and the notice is given; from immovable property (including
- The rules in subparagraph (b) of this paraother non-commercial professions and calendar year next following that the general income tax, for the the ghaffir tax), tax on profits from liberal professions and all in which the notice is given
- duly authorised thereto, have signed this Convention. In witness whereof the undersigned, being

graph shall be correspondingly applicable

security tax and to the supplementary taxes.

respectively to the defence tax, to the national